

令和5年度 シラバス

整理番号

T機工作19_1

教科名	機械	科	科目名	機械工作		
履修学年	1	学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	708機械工作1(実教出版)					
学習の目標	1 機械工作に関する基礎的な知識と技術を理解する。 2 機械のしくみや機械をつくる技術を自然法則と関連付けて考察し、科学的、工学的思考力を養う。 3 機械工作を機械材料、計測、生産管理を含めて総合技術として学び、実際に活用する能力と態度を身につける。					

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	機械工作の基礎的な知識や技術の理解はもとより、ものづくりのいろいろな場面での問題解決を試みることができるようにそれらを相互に関連させて理解している。機械工作にかかわる知識や技術をいろいろな場面で活用できる。	機械工作にかかわるさまざまな事象やそれにかかわる問題点を把握して分析し、それに対処するために、これまでに習得した知識や技術などを活用するとともに、そこで得た知識や経験を元にした発表を行うことができる。	機械工作にかかわる基礎的な知識や技術への関心と、その習得に意欲があり、合理的な生産方法を企画し、実際に活用しようとしている。
評価方法	知識・技能 5割 学習状況の観察 演習問題 定期考査	思考・判断・表現 3割 学習状況の観察 提出物の有無、内容 定期考査	主体的に取り組む態度 2割 授業内での発表、学習に必要なもの、教科書・ノートなどの準備状況の観察。学習状況の観察

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学 期	第3章 鋳造 1節 あらまし 2節 砂型鋳造 3節 各種鋳造法	いろいろな工作法との対比の中で鋳造の特徴を理解させ、鋳造を適切に活用できる能力を身につけさせる。
2 学 期	第5章 塑性加工 1節 分類 2節 鍛造 3節 プレス加工 4節 その他加工	いろいろな工作法との対比の中で塑性加工の特徴を理解させ、塑性加工を適切に活用できる能力を身につけさせる。
3 学 期	第4章 溶接 1節 接合と溶接 2節 ガス溶接・溶断 3節 アーク溶接 5節 その他接合法	いろいろな工作法との対比の中で溶接を理解させ、溶接を適切に活用できる能力を身につけさせる。